

般



問 3期目公約の実現状況は？
答 概ね9割実行した。

△清水議員▽

三期目の公約について

一、町立病院の常勤医師3名体制を目標としていたが、後退していないか。
 二、病院の形態、改修

目途など具体的なプラン立てに着手しているか。

三、病院は赤字額が多いが、医業収益増を見込めない中では、経費削減が必要だ。

経費圧縮のため何をしたか。

四、福祉施設誘致は断念したのか。

五、バイオマス資源を活用したエネルギー循環型のまちづくりで、一般家庭には導入されていないが、当初の考えはどうだったのか。

△長屋町長▽

一、常勤3名体制はできなかつたが、現在は常勤医師1名、非常勤医師3名でやっている。

整形・形成の方の専門医もおり、医師不在による休診日もほぼない。

二、現在、総合計画と行財政改革の両方で検討している。

その報告を受け、病院の運営委員会で審議し、具体的な検討に移っていききたい。

あまり長い年月を掛けるわけにはいかないと考えている。

三、入院、外来ともに患者数が減つたため、赤字は増えている。

しかし給食の外部委託により食事改善をし、収入点数を上げた。また、日常的に経費削減に取り組んでいる。

四、旧滝下小学校に認知症対応型のグループホームを誘致すべくいろいろなの所と協議した。しかし、入所料等入居者の負担が大きい。また、高齢者福祉施設は街中に作るべきという意見もあり断念した。

その後実施した町民アンケートでは、在宅サービス充実を求める声が多かつた。

溪樹園の増床は多額の投資だ。

今後、リハビリセンターのショートステイを利用できるように協議を進めていく。

五、27年度からバイオマス活用推進協議会で、活用方法を検討している。

一般家庭への導入は、かなり先になると考える。

電気と、発生する熱の両方を利用する方式を採用すべく、計画を進めていきたい。

△清水議員▽

断念したことは経緯を含め、広報などで遅滞なく町民に知らせた方がよいのではないかと、公約の9割を実施しているは着手したと理解してよいか。

△長屋町長▽

公約は選挙活動の分野の一つなので、これが出来た、出来なかつたということを公の広

報で示すのは検討してみないと今は何とも言えない。

公約28項目の内、医療・福祉分野等で4件は様々な事情により断念した。

実現したものが19件で67.9%。現在継続的に取り組んでいるものが5件で17.9%。

合わせて概ね9割ということになる。